

京都市少年合唱団

Kyoto City Junior Children's Choir

音楽監督、指揮：加藤完二

全国に先駆け、公立初の少年合唱団として昭和 33 年に創立。合唱を通して団員の音楽性を養い、音楽を愛し、豊かで温かい人間味あふれる人格を形成することを目指して活動を続け、60周年を迎えた。

現在は、京都市内全域より、小学校 4 年生から中学校 3 年生まで、全国でも屈指の規模を誇る総勢 200 名超の団員が集う。年齢や学校の枠を超え、夏の定期演奏会、冬の修了演奏会に向け、毎週土曜日の

定期練習をはじめ、夏季・冬季休業期間中の特別練習を行うほか、京都こども合唱祭、病院への訪問演奏など様々な出演を共にする中で心を通い合わせ、その絆を深めている。

各グループに様々な年齢が所属する縦割りで構成した女子グループ「京桜（みやこざくら）」「都紅葉（みやこもみじ）」、男子グループ「みやこ光（ひかり）」、団内オーディションで選抜した「響（ひびき）」などグループ活動も充実。

昨年度は、京都市交響楽団やパリ木の十字架少年合唱団との共演、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XVII ピゼー：歌劇「カルメン」に出演するなど、ますます活動の幅を広げている。



佐渡裕さんより応援メッセージ

田園交響ホールは、私のお気に入りのホールの一つで、その名の通り恵まれた自然、長く培われた歴史や文化を宿す「丹波篠山」の城下町に土蔵づくりの建築意匠でどしりと佇み、音の響きも良く演奏者と観客が一体となれる心地よい空間だと感じています。また、「丹波篠山」は、私が心の師として仰ぐ、故河合隼雄先生の生まれ故郷であり、ベルリンフィルの指揮者になるという夢を追いかけていた頃、何度も挫折しそうになったとき、いつも私のバックに入っていた河合先生の「こころの処方箋」という本に何度も人生を救って頂きました。だから、河合先生のふるさと丹波篠山がより身近に感じるのかも知れません。私のこれからの目標の一つが「次代の世代を担う子ども達に、音楽の喜びを広げていくこと」です。

京都市少年合唱団は、私も小学校 5 年生の時に入団し、合唱のハーモニーに心を奪われ、多くの友と出会い、音楽の素晴らしさを体で感じる素敵な時間を過ごしました。私の大好きな丹波篠山でのコンサート、多くの子ども達に音楽の喜びを伝えてくれる感動の舞台になることを願っています。



©飯島隆

兵庫県立芸術文化センター 芸術監督 佐渡 裕

きりとり

こども無料
入場券



①名前

②学校名

(学年)

③電話番号

④申し込み番号

